

# 平成 30 年第 1 回大崎市議会定例会会派代表質問発言通告書

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	120 分
1	5	大崎ニューネット 佐藤弘樹	1 市政運営の総括について (1) 市長の大崎市合併時から 3 期 12 年の市政運営に対する所感を伺う (2) 今後の市政における展望と課題はどうか (3) 予算編成で特に留意した点は 2 市長選への出馬について 3 宝の都（くに）・おおさき市地方創生総合戦略について (1) 数値目標における達成率と進捗は (2) 本戦略策定における成果と検証は 4 市民協働と人材育成について (1) まちづくり協議会の役割と方向性の検証は (2) 市民協働における職員の意識向上はどうか (3) 家庭教育支援と各地域における人材育成状況は 5 都市計画税について (1) 今後のあり方と方向性は 6 市役所本庁舎の建設について (1) 市民ニーズをどう反映した機能及び建設手法となるのか 7 世界農業遺産認定について (1) 認定を踏まえた今後の具体的な取り組みは (2) ジアスツーリズム推進と専門職員配置への考えは 8 産業振興策について (1) 米政策見直しによる農業経営への影響分析と対策は (2) 大崎市森林ビジョンの成果と地域産材使用率の進捗は (3) 創業・起業家への積極的な支援策への考えは (4) 大崎市観光振興ビジョンの成果と課題は (5) 中小企業振興条例の取り組み状況は 9 学校統廃合について (1) 旧鹿島台第二小学校利活用への検討を踏まえ、(仮称)大崎市廃校施設活用事業を策定する考えは 10 体育施設整備について (1) 陸上競技施設の整備構想見通しは 11 放射能対策について (1) 汚染牧草の処理に対し、どのような方針で臨むのか 12 地域課題への対応について (1) 田尻地域大貫の第一号隧道整備における改修事業計画の見通しは	120 分
	23	青沼智雄	13 学校教育について (1) 学校教諭の長時間勤務の実態と改善策への考えは (2) 児童・生徒の成績向上対策はどうか	
2	4	改新クラブ 氷室勝好	1 新年度一般会計予算編成と財政の見通しについて (1) 地方交付税の合併算定替え終了を見据え、予算編成に当たっての留意点及び意図について伺う (2) 人口減少及び高齢化により、税収の伸びが望めない	90 分

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>中、適正な財政規模での予算編成上、自主財源の確保が重要であるが、その目標値について伺う</p> <p>2 第2期行政改革大綱の推進について</p> <p>(1) 平成29年度の実施状況及び平成30年度の実施に向けた課題について伺う</p> <p>(2) 大崎市定員管理計画の取り組みについて伺う</p> <p>(3) 非常勤職員の定員管理と今後の方針について伺う</p> <p>(4) 行革の成果について、市民の理解が得られるわかりやすい成果指標（数値目標）が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>3 庁舎建設事業について</p> <p>(1) 本庁舎建設事業の新年度の事業内容及び、取り組む上での課題について伺う</p> <p>(2) 本庁舎への再生可能エネルギー導入の検討状況を伺う</p> <p>(3) 田尻総合支所建設事業の新年度の事業内容及びスケジュールについて伺う</p> <p>(4) 鳴子総合支所建設事業の新年度の事業内容について伺う</p> <p>(5) 鳴子総合支所への再生可能エネルギー導入の検討状況を伺う</p> <p>(6) 現在の鳴子総合支所の跡地利活用の取り組みについて伺う</p> <p>4 世界農業遺産認定について</p> <p>(1) 決定に至ったこれまでの取り組みに対し、敬意を表したい。そこで、以下について伺う</p> <p>ア 認定された農業システムを将来にわたり維持していくための取り組みとしてさまざまな事業を計画していると考えますが、概要を伺う</p> <p>イ 本市の農産物の付加価値が高まることへの期待が高いが、所見及び方策等について伺う</p> <p>5 林業振興について</p> <p>(1) 公共施設の木質化に向け、「大崎産材の利用促進を図る」とのことだが、本庁舎、田尻総合支所及び鳴子総合支所建設への地元産材活用の取り組みを伺う</p> <p>(2) 木質バイオマス事業の推進策として、チップ製造の能力強化が重要であるが、取り組みを伺う</p> <p>6 企業誘致について</p> <p>(1) 本年度の実績と、新年度の見通しについて伺う</p> <p>(2) 工業団地造成に取り組んでいるが、進捗状況と進出企業へのPR等の取り組みについて伺う</p> <p>(3) 市内6地域の道路アクセス及び労働力等の諸条件に見合った製造業等の企業誘致の期待が多いが、所見を伺う</p> <p>7 観光振興について</p> <p>(1) 平成28年の県の統計では回復の兆しが見えるが、鳴子温泉の宿泊客数が依然厳しい状況である。お客様の声としては「見るところ、遊ぶところがない」というのが多い。しかし、大崎は多くの観光資源を抱えており、それらを商品化するすべが弱いと思われる。その</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
3	16	大志会 富田文志	<p>解決策として、「着地型観光」の振興を担う一般社団法人みやぎ大崎観光公社が設立されたものと理解している。観光公社の「着地型観光」商品造成の成果、目標値及び課題を伺う</p> <p>(2) 大崎市観光振興ビジョンに係るアクションプランの実施状況と課題について伺う</p> <p>8 水害対策について</p> <p>(1) 市街地の浸水対策と排水機場整備の進捗と事業全体の取り組み状況について伺う</p> <p>(2) 江合川、鳴瀬川の堤防強化及び多田川両岸堤防改修事業、吉田川の遊水地群整備と河道掘削等の事業推進について伺う</p> <p>9 再生可能エネルギーについて</p> <p>(1) 「バイオマス産業都市構想」の計画期間 10 年のうち、3年が経過した。これまでの実施状況と課題を伺う</p> <p>(2) これまでの実施状況を受け、新年度重点的に取り組む事業方針について伺う</p> <p>(3) 温泉熱（地熱）利活用は本市の重要な観光資源であるが効果的な方策について伺う</p> <p>(4) 西地区熱回収施設の廃熱の利活用について伺う</p> <p>(5) 西地区熱回収施設に近接する通年通水している用水路への小水力発電の設置とあわせた再生可能エネルギーの自治体モデルに成り得ると思うが、所見を伺う</p> <p>10 商業振興について</p> <p>(1) 東日本大震災により、大きなダメージを負ったりオーネふるかわと醸室について、平成 24 年度策定の経営改善計画実施後の運営の状況と課題について伺う</p> <p>(2) まちなか再生の活性化と各地域の商業振興策の具体的な取り組みを伺う</p> <p>(3) 地域通貨等、民間企業を取り込んだ形のWAONカード等の創出による効果が期待されるが、所見を伺う</p> <p>11 福祉政策について</p> <p>(1) 軽度者向け介護サービス等の実態と今後の運営について</p> <p>(2) 独居高齢者及び身体障がい者等の弱者への福祉理容等の充実促進について伺う</p> <p>12 空き家対策について</p> <p>(1) 平成 27 年度実施した空き家調査の結果に基づき、老朽化して危険な空き家の早急なる解体等の措置が求められているが、新年度の取り組みと課題について伺う</p> <p>1 施政方針をなぜ示さないのかについて</p> <p>(1) 年度当初の予算審議に当たっては市政の方針を示すのが当然と思うが、なぜ示さないのか。改選期に向けた出馬表明を早め、施政方針を示すことができたのではないかと思うが、考えを伺う</p> <p>2 行財政改革の検証とこれからの目指す方向性、新たな行政課題へ対応する組織体制と人材育成について</p>	60分

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>(1) 職員定数削減、正職員を減員して臨時・非常勤職員が増えたことについてどのように検証しているのか</p> <p>ア 人件費の削減だけが成果として挙げられるが、ほぼ同数の臨時・非常勤職員が確保されている。年度別に数字を挙げて、市民サービス向上の視点から、本当はどのくらいの職員数が必要と思われるのか、伺う。</p> <p>また、正職員を減員して、臨時・非常勤職員を増やすことの考えを伺う。</p> <p>さらに、職員の定数適正化の中でスキルアップへの取り組みは避けられないが、次世代を担う職員育成の考えを伺う</p> <p>(2) まちづくりの根底をなす町内会組織や自治組織の青年世代離れが問題視されているが、このような状況は、近い将来のまちづくりの推進力に多大な影響が懸念される。こうした現状への具体的対応と今後の考えを伺う</p> <p>(3) 財政調整基金は東日本大震災後に大きく積み増しされたが、大崎市としては震災復興も一定のめどが立った。国の補助金・交付金の制度をうまく活用すれば、大きな基礎財源としてこれを充てることができると思うが、今後の活用の考えを伺う</p> <p>(4) 合併特例債がまた5年伸びるようだが、市役所本庁舎の建設は今後50年、100年の大計の中で考えるべきで、当初から建設費用の圧縮をあまり意識せずに臨むべきと思うが、考えを伺う</p> <p>3 「副県都大崎」構築への課題と市長の考えについて</p> <p>(1) 県内の人口動態は、富谷、利府といった仙台近郊エリアに集中している感が否めないが、こうした現状の要因分析や、大崎市が仙台以北の中心自治体として副県都構築に向けた構想を推進すべきと思うが、考えを伺う</p> <p>4 観光振興について</p> <p>(1) 下駄も鳴子、にぎわいのある鳴子温泉街復活に向けた振興策を伺う</p> <p>(2) インバウンドとしての松島、平泉、鳴子温泉の観光トライアングルの再認識と新たな観光資源の発信策とインバウンド、教育旅行、「滞在交流型」観光の方向性について伺う</p> <p>(3) 紅葉時期の鳴子峡のライトアップについて伺う</p> <p>5 中心市街地復興まちづくりについて</p> <p>(1) (仮)道の駅おおさきの全体像、基本コンセプトは何か、伺う</p> <p>(2) 防災広場の活用策、猛暑と極寒対策について伺う</p> <p>(3) 災害時に防災広場を避難所として利用する人数をどれくらいと想定し、そのうち道の駅利用者の災害非難対象人数をどれくらいに想定しているのか、伺う</p> <p>6 防災備蓄食糧について</p> <p>(1) 災害備蓄非常用食品は、市内何カ所に何人が何日食べ</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>られる分を備蓄しているのか、伺う</p> <p>(2) 保管場所が水害の被害に合う心配な場所に設置されているところはないのか、伺う</p> <p>(3) アレルギー対策など、どのような項目を検討して決めているのか、伺う</p> <p>7 放射能汚染指定廃棄物処理の方向性について</p> <p>(1) 大崎市の処理の方向性について、住民の不安払拭と同意を得るための説明をどのように行っていくのか、その考えを伺う</p> <p>(2) 現在までの保管については長期間の保管を余儀なくされているが、長期保管で苦勞している対象者をどのように救済していくのか、その考えを伺う</p> <p>8 世界農業遺産認定後の広域連携戦略と振興策について</p> <p>(1) かんがい遺産、土木遺産、世界農業遺産、これらの遺産を連携づけたこれからの取り組みの方向性を伺う</p> <p>(2) 圏域1市4町の取り組みをどのように連携を図り戦略化していくか、伺う</p> <p>(3) 民間との連携をどのように進め、成果へ結びつけるのか、伺う</p> <p>(4) 新年度から組織機構の改編で新担当部署が設置されるが、具体的な担当の内容と期待するものを伺う</p> <p>9 将来を見据えた農政について</p> <p>(1) 大崎市農業再生協議会は臨時総会で市内各農業再生委員会へ生産の目安目標として生産数量を配分したが、一方では減反をせずにコメの生産拡大に意欲を持っている農家もいるようで、目標を守ってもらえるかが疑問視されている。市ではどのように取り組みを進めていくか、伺う</p> <p>(2) 現在圃場整備を進めている地域は、とも補償制度が重要と思うが、各農業再生委員会の取り組み状況がどうなっているか、伺う</p> <p>10 鳥獣被害対策について</p> <p>(1) 大崎市の鳥獣被害の実態を伺う</p> <p>(2) 近年の鳥獣被害対策は、追い払うから捕獲へ重点が移り、そのための集落的な組織づくりが必要であるが、集落組織だけでは活動には限界があり、行政の支援が重要になる。捕獲後の利活用への検査支援などを含め、その取り組みに対する考えを伺う</p> <p>(3) 特にイノシシの被害は農作物だけではなく、土地そのものまで被害に合う。復元への費用と時間は大変なものだと聞かすが、拡大を防ぐための早期の対応について考えを伺う</p> <p>11 病院事業について</p> <p>(1) 4病院1診療所の医療体制を堅持するには安定した医療スタッフの確保が重要である。看護師の確保と継続勤務のための支援策を伺う</p> <p>(2) 市内の各地域において開業医の環境が大きく変化している。特に、交流人口の受け入れの基盤が最も整っている鳴子地域では、市民を初め、宿泊者の方々の夜間</p>

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
4	29	日本共産党大崎市 議会議員団 小沢和悦	<p>の救急体制に不安を持っている。市内開業医の実態はどのようになっているのか、また本院の持つ機能と分院に期待する思いをどう実現させていくのか、伺う</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 若者でにぎわう大崎市をつくる施策について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地元企業・事業所の人材確保，若者の地元定着を促進する給付型奨学金制度，奨学金返還支援制度の早期創設を</li> <li>(2) 子供医療費助成制度を 18 歳まで引き上げる等子育て支援策の強化充実を</li> <li>(3) 第 3 子からの国保税均等割免除制度創設を</li> </ol> </li> <li>2 「南病棟」を回復期リハビリ施設として有効活用することについて <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 大崎栗原医療圏に必要な回復期リハビリ病床数と現状から，大崎市が積極的に確保に当たるべきではないか</li> <li>(2) 市役所事務室としての活用ができないと判断された「南病棟」の有効活用に最適なもの</li> </ol> </li> <li>3 世界農業遺産に認定された大崎の農山村の振興発展対策について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地元農産物の魅力を発信，販売を促進，若者の就農にも勢いづく積極的な構想推進について</li> <li>(2) 家族農業を守るため，基幹的農作業（田植え，稲刈り）請負法人の農業機械面での負担を軽減する市独自の「家族農業支援事業」を創設してはどうか</li> </ol> </li> <li>4 原発事故で発生した放射能汚染廃棄物対策と福島悲劇を繰り返さない市長の対応 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1 月 18 日付「河北新報」掲載の大槻憲四郎東北大名誉教授の指摘を受けての大崎市の対応について</li> <li>(2) 市長に「女川原発再稼働はやめてほしい」という表明をしていただきたいが，いかがか</li> </ol> </li> </ol>	60 分
5	26	清和会 佐藤 勝	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 交流人口の増を図る「まち・ひと・しごと」おおさき市地方創生総合戦略を地域づくりの拠点とする考察 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域の豊かな生活環境と雇用創出のための整備</li> <li>(2) 農山村振興議員連盟の活動をどう認識するか</li> <li>(3) まちなか再生と周辺農村部の活性化の両立の手法は</li> <li>(4) おおさき観光の情報発信としての取り組みは</li> <li>(5) 産業政策課の役割と重要性</li> <li>(6) 小野新鶴巻地区の工業団地の遅れの原因</li> </ol> </li> <li>2 世界農業遺産とその考察 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第 2 次大崎定住自立圏共生ビジョンの変更</li> <li>(2) 世界農業遺産と「話し合うまちづくり条例」</li> <li>(3) 「いぐね」の保存に公的支援</li> <li>(4) 首都圏にアンテナショップと交流の場を</li> <li>(5) 江合・鳴瀬川の水源地の 1 つの鳴子温泉向山地区活性化策は</li> </ol> </li> </ol>	45 分

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
6	11	公明党 横山悦子	<p>3 がん患者の皆さまが社会で生き生きと活躍できるよう、かつら等の助成制度の創設を</p> <p>1 世界農業遺産認定を生かした地域活性化について</p> <p>(1) 農産物への付加価値やブランド力の強化、地域活性化の戦略策定について</p> <p>(2) 世界農業遺産ツーリズムの推進について</p> <p>(3) 認定による商工業活性化の戦略策定について</p> <p>2 所有者不明の土地・建物問題について</p> <p>(1) 国土管理の土台となる「地籍調査」の進捗について</p> <p>(2) 筆界未定地は地目別にどのくらいあるのか</p> <p>(3) 土地所有者が死亡した場合、翌年度以降課税していくため、相続人追跡調査はどの程度まで行うのか</p> <p>(4) 所有者不明の土地が増加すると予想されるが、この問題に対する本市の対応について</p> <p>(5) 土地・建物の所有者が死亡し、相続人が不明となっているケースはどのくらいあるのか。また、その原因をどう考えているのか</p> <p>3 予防医学におけるPET-CTの活用について</p> <p>(1) 予防医学におけるがん早期発見診断法PET-CTの活用についてどのように考えているのか</p> <p>(2) 具体的な予防医学時期と検査内容について伺う</p>	30分
7	15	おおさき市民会議 相澤孝弘	<p>1 深刻な人口減少化と高齢化社会の中で、10年後、20年後に向けて、今取り組むべき大崎市の施策について</p> <p>(1) 将来人口の推移見込みと人口増への政策はどのように考えているのか。大崎市が合併以来12年余り経過する中で、人口が約5,000人減少している。10年後、20年後の人口推移をどのように分析して、どのような施策を考えているのかについて数点伺う</p> <p>ア 長寿高齢化に伴い、ひとり暮らしが増加するだろうと見込まれる中であって、健康や安否情報などを含めた「みまわり」、「みまもり」は最低限必要なサービスとして行う必要があると考える。現在の体制で十分把握できているか。どこまできめ細かいサービスが行えるのか。これまでの取り組みの検証を行うべきではないか。</p> <p>そして、次のような提案をする。携帯等の最新通信機器による情報の収集を行うというシステムの構築である。民間の警備会社などでも既に実施しているとのことだが、その情報を市のほうで一元管理して、地区の健康推進員さん等と連携していく。このような事業により、高齢者の孤独死などをなくす。さらには、自分の身の回りは自分自身でできるが、買い物や病院などの際に自動車の運転をできるだけ自分がしなくてもよい方法としての乗り物の確保が大きな課題である。</p>	30分

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>乗り合いの住民タクシーや小型のバスによる交通手段と路線の見直しを常に考えて、利用者の向上に努めるべきではないか</p> <p>イ 空き地・空き家対策について</p> <p>1) どのような理由かは特定できないが、空き地や空き家が増えている状況にあつて、税の未収も増加すると懸念される。所有者が亡くなったりした場合に、相続権者の未登記による問題がこれから大きな社会問題として危惧される点である。公共事業の整備対象物件でも、持ち主の把握や交渉に時間を要した、同意が得られずに計画の変更や中止を余儀なくされる例も考えられる。これらの空き地や空き家物件を解消する手段の1つに、買い手や売り手、貸し手や借り手を仲介する不動産業者との連携を図る必要があると考える。それには「空き家バンク」データなどの物件の情報の開示を進めることではないか。空き地、空き家を相続の問題から放置されないようにする。現行制度では難しい課題があるようだが、死亡届や戸籍の記録から調査して、整理をする。敷地内に農地を含む空き家等は特に問題になる。特区申請も視野に進める必要があると考えるが、市長の考えを伺う</p> <p>ウ 子育て支援のあり方について</p> <p>1) 出産、出生率を高めるために、結婚、仕事、子育てについてこれまで以上に真剣に取り組む必要があると考える。子育て世代の若いお母さん方にお聞きすると、いろいろな要望の声がある。その中で、特に早急に対応すべきと思う点が1つある。乳幼児を対象にした遊戯施設、しかも屋内で土日も利用できる施設が必要という点である。現在、旧市民病院跡地に整備が予定されている子育て支援拠点施設で十分対応できると考えているのか。予定を変更してでもこのような声に応えるべきである。市長の決断を求める</p> <p>エ 幼児教育の取り組みについて</p> <p>1) 第4回定例会の一般質問でも触れているが、教育費の無償化により親の負担が軽減することは歓迎するが、その中で保護者が負担している教材費はどうなるのか。各保育施設で独自に導入して教材を活用しているようだが、均一ではないようである。問題は、近い将来、学校教育でタブレットの導入とか英語教育を低学年から行うとした考えが進むと、母国語である日本語のひらがな、漢字を正しく覚える時期である幼児期に正しく教えるといった考えに立つて行くべきものと思う。保育所はこれまで、働く保護者のために出勤前に預かって、退社後に迎えに行くまでの保育として、乱暴な表現であるが、預かっている間はケガなどをさせなければよしとするイメ</p>



発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>ージがある。一方、幼稚園はそれぞれにおいて教育という視点で運営していることから、保育所と幼稚園の格差が明確に表れているようである。保育指針、幼稚園の指針がいくつか同じ内容となるようであるが、その指針以上に大崎市の幼児教育を推進し、人材を育成するという考えに立って事業を進めていく考えはないのか、改めて考えを伺う</p> <p>オ 新たな文化施設の必要性について</p> <p>1) この点についても第4回定例会の一般質問で触れたが、そのときの市長答弁では、村井知事の胸の内が明らかでないので何とも言えないという答弁であった。しかし、このまま仙台に一極集中する流れを変えなければならない。宮城県の県政の考えに対して大崎市から強く主張すべきではないかと思う。</p> <p>震災復興等に取り組む宮城県にあって、財源等も含めて事業化は数年先になるのであるが、大崎市としてはそれまでの期間を、時間をかけて研究会を立ち上げ、規模や運営方法など可能性についてしっかり研究して、副県都として内外に発信する必要があると考える。</p> <p>宮城県の方向性が明らかになった際にいち早くエントリーができるように準備をしておくべきと改めて申し上げる。市長の答弁を求める</p>